大学生の自己意識の違いが 服装の印象および選択に及ぼす影響

○森岡陽介

(聖カタリナ大学 人間健康福祉学部)

キーワード: 服装選択 自己意識 印象評定

The effect of self-consciousness on the clothes selection and impression

Yosuke MORIOKA

(Department of Human and Social Sciences, St. Catherine University)

Key Words: clothes selection, self-consciousness, impression

目 的

われわれは誰しもが多寡はあるにせよ、服装によって印象管理している。さらに、牛田ら (1998) によると、公的自己意識の高い人ほど伝統やしきたりに従いその場面の雰囲気に合わせて服を選択着用していると報告されている。しかし、従来の研究ではそのほとんどが質問紙上で測定されたものであり、実際に写真を提示した上で評定を行ったものは少ない。カジュアルや清楚といった服装に対するイメージは性差や個人差が存在することも指摘されている。そこで本研究では、実際に複数カテゴリーの服装の写真を提示し、性別、および自己意識の違いによって服装の印象評価、および服装選択が異なるのかどうかを検討する。

方 法

実験参加者 大学生 93 名 (男性 49 名, 女性 44 名, 平均年齢 18.70 ± 1.19 歳) が参加した。

刺激 予備調査によって選出したエレガント, リラックス, カジュアル, 清楚の 4 系統につき 2 種類, 計 8 枚の写真を本実験に使用した。

質問紙

1. 服装の印象評価 大石 (2010) の印象評定に用いた尺度を参考に, 16 項目の形容詞対で構成された質問紙を作成した。

2. 服装設定 7 つの外出シチュエーションを設定し, 女性は自分が着ている服装と近いものを, 男性は女性が上記の行動をするときに着てほしい服装を 8 種類の中から 1 つずつ選択させた。

3. 自己意識尺度 自己意識を測定する尺度として, 菅原 (1984) の自己意識尺度 26 項目を用いた。

手続き 実験参加者に PC モニター上に一枚ずつ写真を提示し, 印象評定させた。なお, 写真の提示順序は実験参加者ごとにランダムに提示した。すべての写真への評定が終了した後, 8 枚すべての写真を同一画面に提示し, 7 つのシチュエーションそれぞれに着装, あるいは着装してほしい服装を選択させた。すべての回答終了後, 自己意識尺度への回答を求めた。

結果および考察

服装の印象評定 16 項目について最尤法プロマックス回転による因子分析を行い, 「華美」「女性性」「活動性」の 3 因子を抽出した。自己意識尺度の公的自己意識因子, 私的自己意識因子と抽出された 3 因子の間に相関があるかどうかを検討するため, 男女別で各自己意識得点と服装ごとの各印象評価得点について, ピアソンの積率相関分析を実施した。その結果, 女性でのみ公的自己意識が高い人はエレガントな服装を華美だと感じやすく, また, リラックスな服装について女性

的ではないと感じやすいことが示された。

次に, 印象評価 3 因子の各得点について, 性別×服装の系統 (4 系統) の 2 要因分散分析を行った (図 1~3)。その結果, 華美, 活動性において交互作用が有意であった。下位検定の結果, 華美得点ではリラックスな服装では男性より女性の方が高く, カジュアルな服装では女性より男性の方が高かった。また, 男性ではエレガント, カジュアル, 清楚, リラックスの順で高く, 女性も同様にエレガントが最も高く, リラックスが最も低かったが, カジュアルと清楚は差が無かった。また, 活動性得点では, カジュアルな服装において男性より女性のほうが高かった。また, 男性ではリラックスが最も高く, エレガントが最も低かった。清楚とカジュアルは差が無かった。また, 女性ではリラックス, カジュアル, 清楚, エレガントの順で高かった。女性性得点については服装の主効果のみが有意であったが, 清楚, エレガント, カジュアル, リラックスの順で高かった。

次に外出時のシチュエーションによって公的自己意識と選択する服装の間に連関があるかどうかを公的自己意識得点の平均値を基に高群と低群に分けて χ^2 検定によって検討した。その結果, 「好きな異性とショッピングモールに行く服装」は高群では清楚な服装が選択されやすいのに対し, 低群ではリラックスな服装の選択割合が多かった。また, 「好きな異性とおしゃれなランチ (¥1,500~) をする服装」は, 高群では清楚を多く選択するのにに対し, 低群はエレガントを多く選択した。公的自己意識の高い人は相手に自分がどう映るかを気にするため, 行き先ではなく行く相手によって服装を選択し, 最も女性らしい清楚な服装を選択したと考えられる。対して, 公的自己意識の低い人は行く相手ではなく行き先や目的によって服装を選択することが示唆された。